

# 水道局 平成24年度 局運営方針

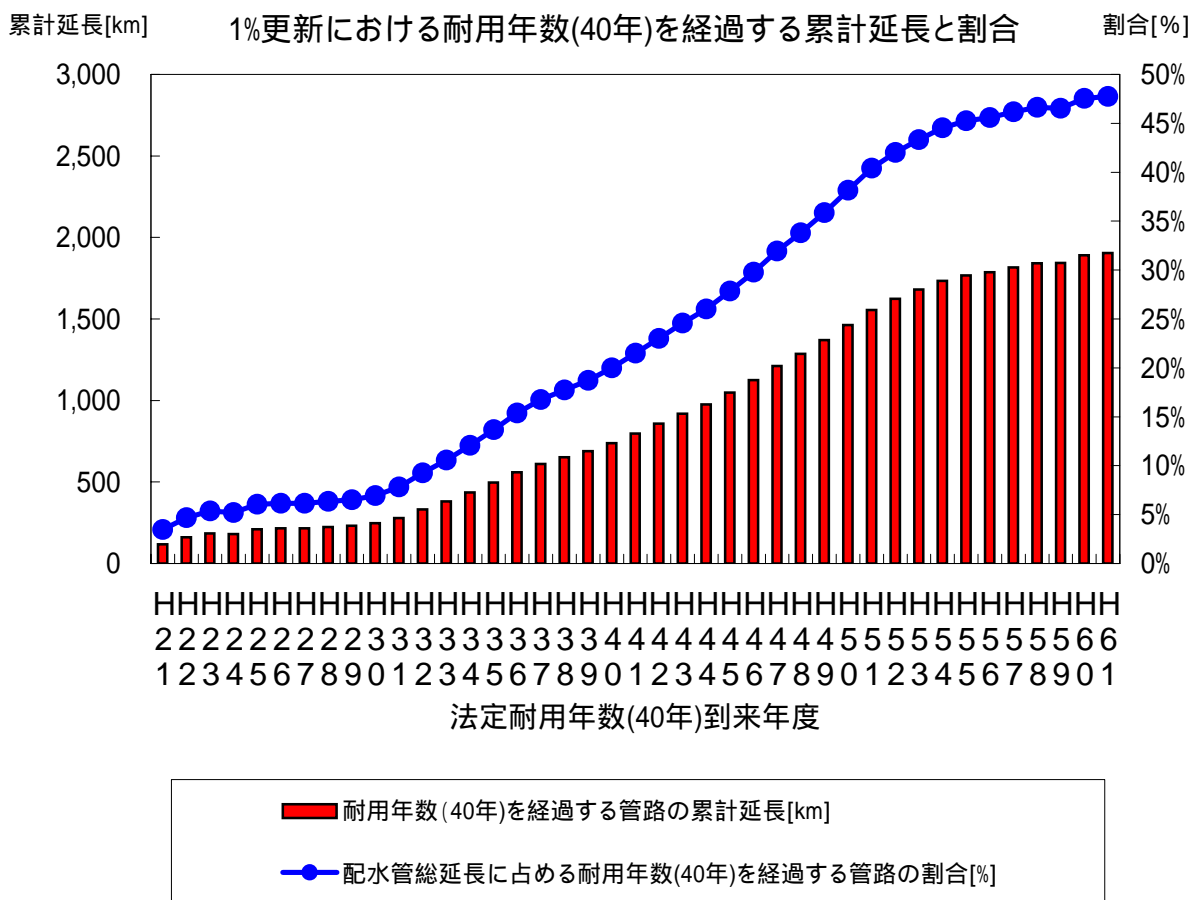
## 1. 主な現状と課題

本市の水道事業は、老朽施設の大規模更新や震災対策の強化などと、その財源確保、更には、料金収入の伸び悩みに対応した効率的な経営やサービス水準の向上など、様々な課題を抱えています。

このような状況から、現行料金を維持しつつ、より一層の経営基盤の強化を図るため、平成22年度に策定しました「中期経営計画(平成23年～平成27年度)」に沿って、健全な財政運営を維持していきます。

(1) 重要なライフラインとしての効率的かつ安定的な給水の確保を図るため、水道施設整備事業では、「地下水源整備事業」、「拠点施設整備事業」、「配水ブロック整備事業」、「配水支管整備事業」、「老朽管更新事業」、「耐震化事業」を推進しています。

老朽管更新事業では、老朽化した水道管を管路総延長に対して、毎年1%の更新をしていきます。



## 2. 基本方針・施策体系別主要事業

安全安心な水道水を安定して供給するため、既存施設の計画的、効率的な改良更新を行うことはもとより、湧水や地震等災害時に強い、信頼性の高い水道を目指します。また、水道に対する多様化するニーズを反映した、質の高い給水サービスを提供します。

(1) 水道施設の改良・更新に併せ、耐震化を進めます。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	24年度	23年度	説明
1	総	水道施設整備事業 〔水道計画課〕	8,429,660	7,485,229	水の安定的な供給を図るための施設整備の推進

## 3. 行財政改革への取組

(1) 計画的な施設整備の推進

今後、水需要の増加が期待できない一方で、水道施設整備事業には多額の財政需要が見込まれることから、中長期的な財政収支見通しに基づく計画的な施設整備を推進していきます。

特に、事業の財政基盤を長期的に安定させるため、借入金である企業債の残高縮減に努め将来の金利負担の軽減を図ることで、更なる事業経営の健全化に努めます。